

青森県 商工会報

発行:青森県商工会連合会
編集:広報編集委員会
青森市新町2丁目8-26
県火災共済会館5F
TEL 017-734-3394
FAX 017-773-7249

全国統一キャッチフレーズ ～商工会は 行きます 聞きます 提案します～

平成22年度第1回知事と商工三団体との懇談会

～ 今会長から商工会法施行 50 周年を契機とする更なる商工会支援を要望！ ～

3団体の要望内容

1. 小規模事業対策予算及び中小企業連携組織対策事業予算の拡充・強化について
2. 商工会法施行 50 周年を契機とする更なる商工会の充実強化に向けた支援要望について
3. 青森県の海外取引促進について



知事に要望する今会長

三村申吾知事と県内商工三団体との懇談会が7月28日(水)青森国際ホテル(青森市)において開催され、各団体からの要望について意見交換した。

当日は、県商工会議所連合会・県中小企業団体中央会・県商工会連合会の三団体の幹部(四十一名)と、三村知事をはじめ商工労働部など県担当部局幹部(十九名)が出席した。

三団体より三村知事に要望書を手渡し、県中小企業団体中央会より「小規模事業対策予算及び中小企業組織対策事業予算の拡充・強化」について、充分かつ安定的な確保を要請した。

続いて今県連会長より、商工会は、昭和35年6月商工会法の施行により、本年、節目の50周年を迎えるが、近年、商工会地域は、少子高齢化による人口減少、行政の広域統合、長引く景気低迷の中で経済力並びにコミュニティ機能が脆弱になった。このような現状の中で、商工会は、中小・零細企業が真に必要な地域密着型経営支援サービスを強化するため、「商工会は行きます!聞きます!提案します!」の統一テーマを掲げ、商工会の原点に立ち返り、巡回訪問による支援を徹底強化すると共に、経営技術強化支援事業等の県及び国の補助事業を活用し、農商工連携・創業等の支援にあたることで、「元気な企業」づくりの取り組みを一層強化する。次の50年に向けて、商工会の強みである地域に密着した地域総合経済団体として、会員企業の満足度向上、地域課題解決に取り組みと共に、これまで以上に組織並びに財政力強化の努力を続けるとともに、地域内の巡回機能を活かした商工会の充実強化について要望した。

最後に青森商工会議所連合会から「青森県の海外取引促進について」輸出入の専門的で公的な立場の機能を持つ支援機関の機能強化を要望した。

続く意見交換では、八戸商工会議所より「上北横断道路」(三沢〜天間林間)の早期完成について、黒石商工会議所「西十和田トンネル(仮称)の早期実現について」青森商工会議所「青森鉄道線の利用促進策について」意見交換がなされた。

「地域資源活性化支援事業（地域間交流事業）」のお知らせ

商工会地域の商工業者と商工会が連携して地域資源を活用した新商品及び全国展開プロジェクト等で開発された商品等を県内外のイベント等で広く紹介し商品力の検証、販路促進を支援し、今後の商品開発及び商品力向上を図るとともに、全国展開プロジェクト事業等の商品開発事業の積極的な活用について推進し、新幹線開業をビジネスチャンスとして捉え新商品等を広く内外に PR して商工業者の活性化と販道の創出を目的として地域資源活性化事業（地域間交流事業）を展開します。

県内 7 ブロック商工会（東郡地区、中・南地区、北・五地区、西・つがる地区、むつ・下北地区、上十三地区、三八地区）が自慢の特産品を持ちより、商工会職員、事業者が一緒となり地域特産品の PR と販売を通して地域イベントに販道を創出します。

今年度の参加イベントについては以下の通りです。

なお、今後皆様の市町村でのイベントに地域資源活性化支援事業（地域間交流事業）を活用したい方は本会地域振興課までお問い合わせください。

平成22年度地域資源活性化支援事業参加イベント

イベント名	開催場所	開催期間
下風呂温泉郷「ゆかい村海鮮どんぶりまつり」	風間浦村	平成 22 年 8 月 28 日（土）
第 2 回うめ〜ど in ひらかわ 食と産業まつり	平川市	平成 22 年 9 月 25 日（土）～26 日（日）
おさかなまつり	佐井村	平成 22 年 10 月 24 日（日）
産業と文化まつり	南郷	平成 22 年 11 月 13 日（土）～14 日（日）
地域力宣言 2010 ニッポン全国物産展	東京都	平成 22 年 11 月 27 日（土）～29 日（月）
新幹線開業イベント	七戸町	平成 22 年 12 月 予定



H22 ゆかい村海鮮どんぶりまつり



販売風景

平成22年度 第1回商工会青年部員研修会 東北六県・北海道商工会青年部主張発表青森県大会



第一回商工会青年部員研修会並びに東北六県・北海道商工会青年部主張発表青森県大会が六月二十四日・二十五日の二日間、佐井村「津軽海峽文化館アルサス」において開催され、県内商工会青年部員の七十三名が出席した。主張発表大会では、それぞれの地域で青年部活動を通じて得られた個人の体験や部員が一丸となり地域のために奮闘している様子を発表した。本年は六名発表の中から東通村商工会青年部 大槻佳幸君が最優秀賞・県知事賞に輝いた。

最優秀賞の大槻佳幸君

- ・最優秀賞 大槻佳幸 (東通村)
 - ・優秀賞 杉山光直 (横浜町)
 - ・優良賞 石亀盛稔 (三戸町)
 - ・敢闘賞 工藤 晃 (蓬田村)
成田貴樹 (相馬村)
太田雅之 (中泊町)
- (敬称略、カッコ内は商工会名)

大槻君は、青年部活動にあまり積極的になかった入部当初から振り返り、偉大な先輩方や青年部の仲間を支えられながら、ふるさとを愛し、地域のために活動する自分にならなっていく姿を表現力豊かに発表した。大槻君は九月九日に仙台市で開催される東北六県・北海道ブロック大会に青森県代表として出場する。

また、研修一日目の事業報告では田中平内町商工会青年部長から「高橋竹山生誕100年津軽三味線とキャンドルナイト事業報告」と題して、発表があり、二日目は運営研究会、仏ヶ浦視察を実施し二日間の研修を終了した。



奇岩そびえたつ仏ヶ浦



表彰される大槻佳幸君

平成22年度商工会女性部主張発表東北六県北海道ブロック大会

7月8日～9日の2日間、札幌市「ホテル札幌ガーデンパレス」において、平成22年度東北六県・北海道商工会女性部員交流研修会並びに東北六県・北海道商工会女性部主張発表ブロック大会が開催され、本県から28名の女性部員が参加した。主張発表大会には本県代表として、平川市商工会女性部の山口正子さんが出場したが、惜しくも敢闘賞に終わった。最優秀賞は秋田県代表・仙北市商工会女性部の浅利久美子さんが受賞し、全国大会への出場が決まった。

また、1日目には「お店はお客様に満足と喜びの感動を」と題しラッキーピエロ代表取締役王一郎氏の講演が行われ、2日目は北海道女性連の取り組んでいる事業活動報告があり、2日間の研修を終えた。



発表する山口正子さん

～「気くばり隊」札幌駅で開業PR！！～



「青森においでください！」

県内から隊員が集まる活動の第1弾として7月8日、札幌市のJR札幌駅構内で本県の観光パンフレットや土産品を配り、12月4日の東北新幹線全線開業をPRした。28人の隊員は「12月に新幹線がやってきます。ぜひ青森に来てください」などと呼びかけながら、パンフレットやリンゴの菓子、あめなどが入った袋を配った。用意した1,000セットは30分で品切れとなった。気くばり隊は今後、首都圏でのPRを予定している。



無料配布したりんごチップス！



PRを終えて満足気な隊員たち

広域指導センター通信

県内5カ所の広域指導センターからのセンター事業並びに各センター管内の商工会地域の情報をお届けします。

<中央広域指導センター>

経営講習会開催! テーマ～接客マナーと色彩でおもてなし～

今年12月4日に東北新幹線新青森駅が開業、新たな玄関口がお客様をお出迎え、津軽地方への観光客の訪れは必至、おもてなしの準備はできていますか?

- 1 日程 10月8日(金) 14:00～ 大鰐町地域交流センター「鰐 come」多目的ホール
10月12日(火) 14:00～ 平内町商工会2階研修室
- 2 講師 ビューティ&カラーコンサルタント amica
カラーコーディネーター 岡本 ひろ子 氏
- 3 受講料 無料

「経営革新塾」後継者育成コース開塾!

後継者の育成及び事業継承を考えている経営者等を対象の経営戦略、組織マネジメント等の知識・ノウハウ等を習得する短期集中研修をゼミナール形式で開催致します。是非この機会にお申込み下さい。

- 1 日程 10月9日(土)・17日(日)・24日(日)・31日(日)の4日間
- 2 場所 青森市浪岡商工会館
- 3 定員 20名
- 4 受講料 5,000円 (中央広域指導センター 017-734-3394)

<東部広域指導センター>

第7回六景楽市ブランド認定会議開催!

六ヶ所村周辺7市町村商工会と日本原燃(株)で組織する「六景楽市推進委員会(委員長 竹林秋雄 三沢市商工会長)」は地域特産品の開発や販売支援を行う広域事業を行っており、東部広域指導センターがその事務局を担当しています。地域ブランド育成事業「六景楽市ブランド認定事業」では多くの認定商品が生まれ、認定事業者への各種セミナー、イベント出展や販路拡大支援を行っています。

去る7月27日青森原燃テクノロジーセンターにおいて「第7回六景楽市ブランド認定会議」が開催されました。今回の地域内9事業者より15商品の申請があり、審査の結果、野辺地町・ビリオン「ほたてカレーパン」ほか11商品が新たにブランド認定されました。(東部センター・萩生)



ビリオン(野辺地町) 岡田さん



審査の様子(幹事と専門家)

<西部広域指導センター>

西・つがる商工会職員協議会職員資質向上研修会開催!

西・つがる商工会職員協議会（会長村上正行つがる市商工会）では、職員を対象に I T の経営支援施策向上を図る目的で、8 月 9 日（月）午後 1 時からつがる市商工会館において県連商工会指導課及び F O M 担当者を講師に、県内トップを切って新グループウェア操作演習とカメラを使ったウェブ会議室システム操作の研修会を開催した。研修会への関心度が高く 24 名の受講がありました。I T の共有化を認識し、商工会内外の関係者間でいつでも効率的に使える機能を学び、今後商工会の運営と商工業者の I T 経営支援、情報サービスの提供共有に役立つものと期待されます。又、研修会終了後、福利厚生事業として健康促進と職員間の交流親睦を図りました。（西部センター・米谷）



研修会の様子

<北部広域指導センター>

地域資源活用研修事業開催!



下北ブランド研究所



海峽サーモン骨抜き作業の様子

去る6月21日むつ下北商工会連絡協議会で、「地域資源活用研修事業」を行いました。当日は協議会の平成22年度通常総会をむつ市大畑町で開催することになっており、大畑町商工会の協力を得て大畑町の特産品ブランド（海峽サーモンの加工工場）並びに特産品開発等の公的支援機関である「下北ブランド研究所」の視察研修を行ないました。むつ下北地区商工会役職員20名のフリー参加でした。まず、「下北ブランド研究所」山日所長に事業内容について説明を受け、施設内の見学をさせていただきました。下北ブランド研究所では、加工に関する試験研究及び調査に関すること、加工した食品の商品化に関する技術の指導や分析に関することを行い、これまでに46品目の認証基準がつけられ、そのうち27品目62商品が下北ブランド産品として認証されています。場所を移動し、海峽サーモンの加工工場の視察へ。ちょうど、水揚げ・加工の最盛期ということで大忙しの現場でした。見学するにあたって、足に靴カバー・頭にはキャップをして、除菌をしてから加工場に入らなっています。細かいサーモンの骨をピンセットで抜く作業をしていました。既に、海峽サーモン鮮魚の水揚げは7月26日で終了していますが、今年のサーモンは、型も大きく・身質・脂ののりもよく最高だった！とのことでした。海峽サーモンも、下北ブランド産品として認証されています。興味のある方はこちらのHPをどうぞ。

【海峽サーモン】<http://www.kaikyuu.com/index.html>

地域資源の有効活用をする上で、今回の視察を活かし新たな地域資源発掘にも役立てられることと思います。（北部センター・石戸）

<南部広域指導センター>

創業塾開塾！「あなたの夢を叶える4日間」

- 1.日 時 9月4日(土)・11日(土)・18日(土)・19日(日)の4日間9:30~16:30
- 2.場 所 バーデパーク「ウェルネスホール」(南部町福地地区)
- 3.定 員 20名
- 4.受講料 5,000円

起業を目指している方、第二創業を考えている方を対象とした短期集中セミナー「創業塾」を企画いたしました。専門講師が創業に向けた手法をわかりやすくお伝えしますのでお気軽にお問合わせ、お申し込みください。

(南部広域指導センター 0179-22-1021)

住宅版エコポイント講習会開催！

7月3日から3日間、経済危機を生き抜く中小・小規模企業支援強化事業として、五戸町・南郷区・三戸町を会場に「住宅エコポイント制度に関する業種別講習会」が開催され、約30名の受講者であった。青森県建築士会の要職にある1級建築士の工藤正憲氏を講師に迎え、経済支援策として創設された、国と青森県版エコポイント制度について、新築・リフォーム・バリアフリー毎のポイントを獲得するためにはどの様に対応すべきか、具体的手順・工事をする際の留意点について事例を交えながら説明された。また業界動向として、太陽光発電設置や無暖房・遮熱住宅の方向へあるとの紹介がされ、講師から「予算に余裕をもつこと・一番安心なのは地元で長く商売をしている人へ頼むこと」の2点について話された。国のエコポイント制度は今年12月31日着工分までと限られていたが、関係省庁によると期間延長する方向で検討に入っているとのことで、今回の受講を契機に顧客のニーズを的確に把握し、制度を上手に活用することによって業績の向上に繋がればと期待される。



各会場の様子

商工会の

経営者と従業員のための全国商工会休業補償制度

休業補償プラン

所得補償保険団体契約(天災補償特約付)

3大メリット

- 1.ケガや病気による就業不能を補償
- 2.医師の診査が不要で加入手続簡単
- 3.団体割引等適用のため保険料が割安

負担の少ない
割安保険料

基本保険料の

約**36%**
割引



保険期間

平成22年10月1日 午前0時
平成23年10月1日 午後4時 1年間

中途加入毎月受付中

補償期間:毎月1日~平成23年10月1日

ケガや病気で働けない間、
保険金をお支払いします。
最高1年間補償(免責7日間)

全国商工会連合会

商工会名・商工会連合会名

引受保険会社

あいおい損害保険株式会社

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

あいおい損害保険株式会社とニッセイ同和損害保険株式会社は、関係当局の認可を前提として、平成22年10月1日に合併し、「あいおいニッセイ同和損害保険株式会社」となります。

病気やケガで全く働けなくなった期間、月々の所得を補償します。

平成22年10月版

全国商工会の会員および従業員のための

全国商工会経営者休業補償制度 (団体所得補償保険)

毎月加入
受付中!



● 本制度のメリット

44%の割引適用

団体割引20%
過去の損害率による割引30%適用

● ご加入対象

基本契約 (所得補償保険)

全国の商工会会員の経営者および従業員の方で新規加入:15歳~64歳
継続加入:15歳~69歳

奥様安心プラン (家事従事者特約付所得補償保険)

全国の商工会会員の経営者、従業員の配偶者で、
加入時年齢が16歳~64歳までの家事従事者の方

保険期間：平成22年10月1日(金)午後4時～平成23年10月1日(土)午後4時

新規・更改募集の締切：平成22年8月31日(火)

中途加入・脱退・内容等の締切：変更を希望する月の前月15日

毎月1日の保険始期で
ご加入になれます。

(契約者)



全国商工会連合会

※引き受け保険会社 株式会社損害保険ジャパン

全国商工会経営者休業補償制度

商工会の休業補償制度

(所得補償保険)



保険料
約**37%**割引

団体割引30%
過去の損害率による割引10%

$[1-30\%] \times [1-10\%] = 0.63 \rightarrow 37\%$ 割引

(過去の損害率による割引は天災・急病・
自保特約保険料には適用されません。)

保険期間:平成22年10月1日午後4時~平成23年10月1日午後4時

募集期間:平成22年 7月1日~平成22年8月末日

中途加入は毎月受付中

毎月1日午前0時の補償開始でご加入いただけます。

商工会会員の皆様へ

●この保険契約は全国商工会連合会を契約者とする商工会会員向け所得補償保険契約です。保険証券を請求する権利、保険契約を解約する権利等は原則として全国商工会連合会が有します。「商工会の休業補償制度」は、本制度の愛称です。

●保険の対象となる方は、商工会会員および商工会会員である事務所に勤務されている方ならびにそれらの方の配偶者(家事に従事されている方)に限りますので、ご確認の上お申込下さい。団体の構成員でなくなった場合には、取扱代理店・扱者までご連絡下さい。

 **全国商工会連合会**

引受保険会社 東京海上日動火災保険株式会社